

市川地方卸売市場を防災拠点に!

Q 鬼高4丁目に位置し、隣接する南八幡、田尻、稲荷木にも近く、特に田尻地区は近年工業地域と住居地域が混在しており、防災上の課題が多い地区であります。そこで防災拠点として活用する考えを伺います。

A 市場は大屋根を含め広大なオープンスペースを生かし、大型車両の待機スペースやフォークリフトなどの機材活用、大型冷蔵庫を利用した流通品の保管等様々な活用が考えられる為、災害時において市場機能の回復を第一に考慮しながら災害支援協定の見直しを協議します。

Q 災害時における援助物資は、被災者支援にとって大変重要です。現在物流拠点として、大洲、広尾各防災公園がありますが、今後市場も災害時の援助物資の集積や、供給拠点としての活用についての考えを伺います。

A 災害時は、建物の倒壊や火災などにより道路の閉塞や液状化等も想定できることから、市場及び「道の駅いちかわ」を救援物資の集積・供給拠点として活用できるようにしていきたいと考えています。

市場を防災拠点として活用して頂くことは、市民にとって特に鬼高、近隣の田尻、南八幡、稲荷木地区の方々にとっても大変心強い事です。今後協定の際には自家発電も含め、協議して頂き市の積極的な協力を要望致します



9月15日、公明党市川総支部市議団にて市川駅、本八幡駅、行徳駅浦安駅の4箇所で「台風15号による被災者救援募金」活動を行いました。

募金は日本赤十字社千葉県支部を通じて被災者の皆様に送らせて頂きました。



8月30日～9月5日が防災週間でした。市川総支部女性議員にて浦安駅、本八幡駅にて街頭遊説をさせて頂きました。液体ミルクの導入、避難所におけるマンホールトイレの推進、家庭における備蓄食品、備蓄トイレの重要性を訴えさせて頂きました。



蓋かけ歩道の安全対策!

Q これまでの蓋かけ歩道の整備状況と今年度の予定について伺います。

A 市内には蓋かけ歩道となっている水路の総延長は約56キロです。京成より北部が約8キロ、南側の中部地域の延長は約11キロ、行徳地域の延長は約37キロとなっている。老朽化した蓋のかけ替えや水溜まりなどの解消し、通学路や幹線道路などを優先して行っています。また、水路本体の改修にふたかけ柵渠改修事業と連携して整備を行っています。今年度の整備済み延長は21キロとなります。北部、中部は蓋の交換が必要な箇所がある場合には、部分的な交換や優先度を決めて整備期間を判断していきます。



Q 近隣マンションはじめ多くの市民より要望がある田尻3丁目4番地先から田尻4丁目9番地先の蓋かけ歩道の整備予定について伺います。

A この蓋かけ歩道部は、延長390メートルと長いですが、老朽化による段差や損傷が生じており、歩行者等の通行に支障をきたしている事や信篤小学校の通学路でもある事から、早期に安全確保を図るため、本9月議会にて補正予算の承認を受けました。、令和2年9月頃に完成予定で工事を進めます。